



うきは市
企業版ふるさと納税
対象プロジェクト

プロジェクト1



フルーツ狩りができる 古墳群整備と賑わい創出プロジェクト (2024年度まで)

現状と課題

全国にある国指定の装飾古墳73基のうち1割が市内にあるうきは市は、日本の文化財を保存し、後世に残す取組を行っています。

歴史的な価値がある古墳にも関わらず保存状態や展示方法に課題があり、後世に残していくには不十分な状況です。

寄付の活用方法

時間をかけて古墳を守り、施設を修復し、駐車場や散策路など見学者が訪問しやすい空間を整備します。

古墳の周りは、オリーブ園や柿、ぶどうなど観光果樹園が多いことから地域全体で文化財を守り活用する活動に取り組みます。

寄付企業への主なベネフィット

- ・現地に企業名を刻んだ銘板を設置
- ・関連イベントへの参加と企業PR



現在は駐車場が少なく気軽に見学できない



令和3年度に整備したガイダンス拠点

プロジェクト2



世界で活躍する人材を育てる プロジェクト (2024年度まで)

現状と課題

うきは市は、いち早くすべての小中学生と先生たちに1人1台のipadなどタブレット端末を導入し、授業の中で活用する取組を進めています。

2020年度は、全小中学校と教育委員会が学校情報化先進地域に認定され、特にプログラミング教育への取り組みが評価されましたが、継続した取り組みが必要です。

寄付の活用方法

ポストZ世代にデジタル技術を使った主体的で対話的な教育を実施し、10年後の世界で活躍し日本経済をけん引する人材を育てます。

教師のデジタル技術を高めるためにICT支援員を配置し、授業の質を向上させます。

寄付企業への主なベネフィット

- ・デジタル人材の雇用創出
- ・中学校舎へ企業名を刻んだ銘板を設置
- ・防災やデジタルなどをテーマに授業を共同開催



先進的なプログラミング教育の取組



オンラインを使って学びを深める授業

プロジェクト3



新たな農を支える 農業人材育成プロジェクト (2024年度まで)

現状と課題

日本の食料自給率は37%となり、将来の食料の安定供給や農業の持続的な発展が危ぶまれています。

うきは市は農業が基幹産業であり、地元の農協と共同出資してトマト栽培を学ぶ団体を設立し、意欲ある新規就農者や後継者を受け入れています。

寄付の活用方法

荒廃地を借り受けて農地を守ります。また、最終的に出荷できない農産物も少なくないことから、加工品を製造できる施設を整備・運営して農家をサポートします。

持続可能な日本の農業の未来を目指して農業人材を確保します。

寄付企業への主なベネフィット

- ・農業人材の雇用創出
- ・社員の田植え体験や稲刈り体験
- ・農産物の提供



都市部から参加した棚田オーナーの田植え



荒廃地を借り受けて農地を守ります

プロジェクト4



うきはを日本有数の観光地にする 観光振興プロジェクト (2024年度まで)

現状と課題

うきは市は、2005年に誕生したまちです。旅行情報誌が選ぶ九州・山口道の駅ランキングで6年連続1位の道の駅うきはや浮羽稲荷神社のほか、フルーツやスイーツの店がたくさんあり、山間部では森林セラピーや棚田キャンプなどが楽しめます。福岡県内で人気のある観光地として年間200万人以上の観光客が訪れますが、全国的に知名度は高くありません。

寄付の活用方法

受け入れ態勢を強化して地域自らが観光客を集める観光まちづくりを行います。軽井沢や京都、湯布院と聞いてわかる人が多いくらい、うきはの名前を広く浸透させ、うきはの地を観光地としてブランド化します。

寄付企業への主なベネフィット

- ・観光商品の共同開発
- ・観光イベントへの参加と企業PR



筑後平野が見渡せる浮羽稲荷神社



歴史ある吉井の白壁のまちなみ

プロジェクト5



清流のまち うきはウォータープロジェクト (2024年度まで)

現状と課題

うきは市は、名水百選など水にまつわる数々の日本百選に選ばれた名水のまちです。全国の市で唯一上水道がなく、市民の9割が地下水をそのまま利用できることから、市販のミネラルウォーターの採水地でもあります。

この水は、3万人の市民だけでなく、市外に送られ、福岡都市圏の300万人の人々や事業所の水道水に使われていることから、安全性を守り続けることが求められます。

寄付の活用方法

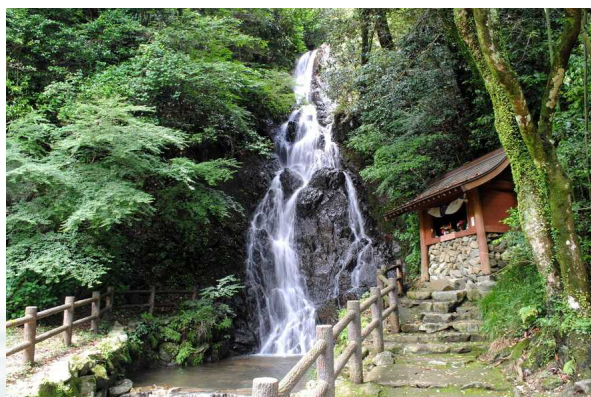
水量や水質を定期的に管理したり、市民参加による年に2回の河川清掃活動に取り組みます。

水源である森林の整備や水路工事をを行い、水を守る活動に取り組みます。

水にまつわる歴史遺産や水利技術を紹介する施設を整備して、広く語り継ぎます。

寄付企業への主なベネフィット

- ・水関連事業者との関係構築や商品化支援
- ・水関連イベントへの参加と企業PR
- ・植林など保全活動への参加検討



水源の森百選に選ばれた調音の滝



市民団体による水に親しむイベント

プロジェクト6



うきは ラグビータウンプロジェクト (2024年度まで)

現状と課題

今年、ラグビートップチームが競うフォーマットが「リーグワン」として刷新され、日本ラグビー界は新たな一步を踏み出しました。しかし九州では、チームが活動縮小やリーグ撤退し、多くの選手が岐路に立たされてることから、ラグビーの伝統が静かに息づくうきは市にトップレベルの選手がプレーする足場を残すため、完全地域密着型のチーム「ルリー口福岡」が誕生しました。しかし、うきは市内にはラグビー競技に適した人工芝グラウンドがなく、選手がプレーできる最適な環境づくりが必要です。

寄付の活用方法

ラグビーを通じた「感動」「笑」「夢」溢れるまちづくりへ取り組みます。

ルリー口福岡の活動を核とするシビックプライドの醸成を図ります。

地元の究真館高校と地域の連携によるラグビーを通じた人材育成を推進します。

地域の企業・事業者との連携による地域経済活性化に向けた取り組みを行います。

ラグビー競技に適した人口芝グラウンドを整備し、一流のプレーができる最適な環境づくりに取り組みます。

寄付企業への主なベネフィット

- ・スポーツを通じた人材育成への支援
- ・関連イベントの参加と企業PR



【うきは市へ寄附する方法】

■その1

下記の係へメールや電話でご連絡いただくか、申出書を市へご提出ください。
(申出書は「うきは市 企業版ふるさと納税」で検索して、ダウンロードできます。)

<https://cms.city.ukiha.fukuoka.jp/www/kiji0033242/index.html>



折り返し、納付先の対応をいたします。

- ①(原則) うきは市より納付書を発送します。
- ②(お急ぎの場合は) うきは市の口座へ直接お振り込みいただきます。
西日本シティ銀行(0190)吉井支店(279)
普通 0746097
うきは市市長 高木典雄(ウキハシシチョウ タカキノリオ)

■その2(今すぐに寄附したい場合)

(株)JTBが運営する企業版ふるさと納税サイト「ふるさとコネクト」にて、一部のプロジェクトで寄付を受け付けています。

「ふるコネ」でインターネット検索し、うきは市をキーワード検索ください。
クレジットカードまたは口座振込で決済ができます。
(入金まで時間がかかる場合がございます。)

【決済後】

うきは市で入金を確認できましたら、受領証を発送します。
税の申告でご利用ください。

また、
ご希望に応じて感謝状の授与や公表などベネフィットの調整をさせていただきます。

【お問い合わせ】

うきは市役所 企画財政課 企画調整係
〒839-1393 福岡県うきは市吉井町新治316番地
TEL 0943-73-9152
kikaku@city.ukiha.lg.jp